

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和4年2月4日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから2月4日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の資料に沿って説明をいたします。

まず、2月7日の（2）輸送容器に関する審査会合ですけれども、これは既に火曜日に説明したものですけれども、そのときは議題は2つと言っていました、1つ落ちましたという説明です。

今記載されている原子燃料工業株式会社というのに加えまして、四国電力からの申請という議題もあったのですが、準備不足のため、議題から今回落ちますということです。

次が、2月8日の（5）核燃料施設等の審査会合です。

議題は、京都大学臨界実験装置の設置変更承認申請についてということになります。

これは元々は11月24日の委員会で宿題が出まして、それを解決するためにやっていたもので、前回12月21日の審査会合でおおむね議論を終えたのですが、再度細かい部分の確認が必要になったと聞いています。

次が、2月8日の（6）特定兼用キャスクの型式証明の審査会合です。

これは日立造船からの申請について、9月16日に申請があつて、11月11日に1回目の審査会合をしたもので、そのときのコメントへの回答などということになります。

あとは、2月9日の（8）委員長の記者会見ですけれども、通常と時間が変わっています。その日、委員長に国会対応の可能性があるとということで、17時半からに時間を変更しています。

あと、来週の金曜日、2月11日はお休みになりますので、金曜日の記者ブリーフィングは中止になります。通常、金曜日に説明しているような分は、来週の火曜日、2月8日にまとめて説明するような形になります。

こちらからは以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってか

ら質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。

—了—